



山形県立村山特別支援学校

村山特別支援学校は山形市南西部、谷柏地区に平成20年4月、村山地区の知的障がいのある児童生徒が、自宅から通学できる学校として開校しました。また、平成26年4月に小学部を対象とする「山形校」と「天童校」の二つの分校が開校しました。

本校には小学部、中学部、高等部の3学部があり、今年度は小学部66名、中学部53名、高等部76名、計195名（5月1日現在）の児童生徒が元気に学校生活を送っています。

在籍数の増加により、平成27年7月末に木の温もりがある校舎が増築されました。平成28年4月からは自校給食となりました。同年7月には山形聾学校と共用のグラウンドも完成しました。

さらなる在籍数の増加により、令和7年7月より増築工事が進められ、同年10月末には仮設校舎「南棟」が完成しました。



学校の教育目標

「すすんで学び、よりよく生きる人を育てる」

教育方針

- (1) 一人一人の障がい特性や実態を的確に把握し、本人や保護者の思いや願いを踏まえ、育てたい力（育成すべき資質・能力）を整理します。
- (2) 教科を意識した授業実践を行うことで、学習定着を図り、学んだことを日常生活で活用できる子どもたちを育てていきます。
- (3) 卒業後の生活の中で、暮らすことや働くこと、余暇を楽しむことなど、生涯にわたってよりよく生きることができるよう人を育てていきます。

めざす子ども

- 心も体も元気な子ども
- 生活する力のある子ども
- 自分の気持ちや思いを伝える子ども

めざす学校

- 子どもにとって
早く登校したくなる **楽しい学校**
- 保護者にとって
安心して任せられる **安全な学校**
- 地域にとって
相談や支援を受けられる **頼りになる学校**
- 私たちにとって
働きやすい **やりがいのある学校**

今年度の指導の重点

～教科をベースとした授業実践の推進～

- (1) 安心、安全な学校
- (2) 一人一人に応じた指導・支援の充実
- (3) 楽しく充実感のある授業

《沿革》

- 平成20年 4月 「山形県立村山特別支援学校」及び
分校「山形県立村山特別支援学校楯岡校」開校
- 10月 開校記念式典挙行 校歌制定発表
- 平成21年 10月 創立1周年記念式挙行
- 10月 全日本特別支援教育研究連盟全国大会
第10分科会会場
- 12月 分校「楯岡校」にスクールバス配置
- 平成23年 3月 分校「楯岡校」校舎増築(4教室)
- 平成24年 4月 児童生徒の増加により山形聾学校B棟の4教室を借用
- 平成25年 4月 分校独立「楯岡特別支援学校」と校名を改める
- 平成26年 4月 新たに小学部課程の二つの分校
「山形校」「天童校」が開校
- 4月 校舎増築工事に伴い、山形聾学校B棟の8教室を借用
- 7月 本校にスクールバス配置
- 平成27年 7月 校舎増築工事完了
- 9月 創立・増築棟完成記念式挙行
- 平成28年 4月 自校給食開始
- 7月 グラウンド完成
- 平成30年 9月 創立10周年記念式典及び記念行事挙行
- 11月 村山特別支援学校職員OB会「きずな会」発足
- 令和 5年 11月 第62回全国学校体育研究大会山形大会 第12分科会会場
- 令和 6年 4月 児童生徒の増加により山形聾学校B棟の3教室を借用
- 11月 全国学校体育研究優良校表彰
- 令和 7年 10月 本校に仮設校舎「南棟」完成
- 令和 8年 4月 本校に教頭2名配置

山形県立村山特別支援学校（本校）

〒990-2314 山形県山形市大字谷柏元下谷柏43番地

TEL (023) 688-2995 [小中職員室] (023) 664-3550 [高職員室]

(023) 688-2996 [事務室] FAX (023) 688-2997

URL <http://www.muratoku-sh.ed.jp>

<小学部の紹介>

小学部では、教師や友達と一緒に様々な活動に取り組んでいます。「山形校」と「天童校」の二つの分校があり、宿泊学習や修学旅行、直接交流や手紙のやり取りなど一緒に活動しています。

【学習の様子】



学校近くのコパルに出掛け、遊具でたくさん身体を動かしたり、本を読んだりしました。



夏はやっぱりプール！学年毎にプール学習を行いました。友達と一緒に笑顔いっぱいの学習になりました。



河北町児童動物公園へスクールバスで出掛けました。シカやポニーにニンジンあげました。ドキドキしたけど、たくさん食べてくれました。



山形校、天童校の友達と一緒に本校で学習を行いました。一人一人みんなの前で自己紹介をして、仲良くなりました！



プレイルームの様々な遊び場で、楽しく体を動かして遊んでいます。「ころころランド」のボールプールを楽しみました。



国語・算数の学習では、個に応じた課題に集中して取り組んでいます。図書室で絵本も読みます。

【運動会】



4～6年生35名で運動会をしました。保護者の方の応援を受けて、ゴール目指して様々な競技に取り組みました。

【むらとくまつり】



むらとくまつりでは、たくさんの保護者の前で、練習の成果を発揮して堂々とステージ発表を行いました。

【宿泊学習】



霞城セントラルで科学館見学や食事をしました。東根の東紅苑では、友達と一緒に初めて宿泊しました。

<中学部の紹介>

【運動会】

保健体育の時間に取り組んできた徒競走や玉入れ、大玉転がし、ダンス等の学習の成果を発表しました。



【生活単元学習】

生活の中の課題から体験することを重視し、生活に必要な事柄を実際・総合的に学習しています。



交通ルールやマナーを守って学校周辺を散策しました。見つけたものや調べたことをまとめてクラスごとに地図を作りました。



畑を耕し、栽培の学習をします。自分たちで育て、作物の成長の過程を観察し、収穫した作物の利用を考えていきます。



修学旅行に向けて、公共施設利用の学習をしました。ビュッフェ形式の飲食店で好きな料理を選んだり、適量を考えたりして食事をしました。

【作業学習】

タイルコースター、刺し子布巾、カレンダー等を製作し、11月と2月のバザーで販売します。



<クラフト班>



<布加工班>



<紙工班>

【音楽】

ピアノ伴奏の速さや強さに合わせて、歩いたり楽器を鳴らしたりしました。



<高等部の紹介>

【作業学習】

社会参加に向けて働く意欲や態度を育てていきます。製作した棚やフリーカップ、バッグ、石けん、野菜、メモ帳などは、校内や校外のバザーで販売します。



今年度は木工班、石けん班、農芸班、窯業班、縫製班、プロダクト班、サービスの7班で学習しています。



年に2回、校内や校外で作業製品のバザーを行っています。

【保健体育】

様々な運動種目を通して心身の健康を養います。

仲間と高め合ったり、自分の記録に挑戦したりしながらスポーツライフの実現を目指しています。



【生活単元学習】

課題の解決を通して、生活に必要な知識や技能を身に付けられるようにしています。



【修学旅行】

横浜に修学旅行に行ってきました。友達と一緒に新幹線に乗り、さまざまな見学地を訪れました。二泊三日の行程で、日本を代表する文化や芸術に親しみました！



交流及び共同学習の取り組み

交流及び共同学習では、南山形地区文化祭でのステージ発表や東北文教大学の学生と体づくり運動等を行っています。①地域の資源の活用、②社会性と主体性を育むこと、③本校に在籍している障がいのある児童生徒についてより広く理解を促すことをキーワードとして取り組んでいます。

<小学部>

東北文教大学の学生や先生に、人形劇を見せてもらったり、手遊びやゲームを教えてもらったりしました。みんな目をキラキラさせて見たり、まねしたりして、時間一杯活動を楽しみました。



<中学部>

東北文教大学の学生や先生に、体づくり運動を教えてもらいました。音楽に合わせて一緒に楽しく体を動かしました。学生さんや先生のモデルの動きを見ながら、楽しく活動しました。



<高等部>

毎年1年生が、隣接する県立山形聾学校のみなさんと自己紹介や学習発表をして交流しています。

2年生は地域でのボランティア活動に、1年生は地域の「城山太鼓」のみなさんと交流し、楽しい時間を過ごしました。



居住地校交流と学校間交流（山形聾学校）を行っています。普段の学習では味わうことのできない学習を行っています。



小学部の居住地校交流で自己紹介や調理活動をしました。居住地の小学校の友達や先生と楽しく交流しました。



中学部では山形聾学校の友達と自己紹介をし合った後に、手話のダンスをしたり、ビンゴゲームをしたりして楽しく活動しました。



高等部では、1年生が山形聾学校の友達と交流しています。自己紹介をし合った後に、ゲームをして楽しく活動しました。



山形県立村山特別支援学校 山形校

【山形校について】

村山特別支援学校山形校は、通学の負担を軽減し、「居住地からできるだけ近い学校で学ぶ」ことを目指して、村山特別支援学校の分校として、平成26年4月に山形市立第五小学校内に開校しました。

山形校は、小学部のみを置く知的障がい特別支援学校で、単一障がい6学級（1～6年）と重複障がい2学級の計8学級を設置することができます。

開校から13年目になる今年は、1年生2名、2年生1名、3年生6名、4年生1名、5年生3名、重複A組1名の計14名の児童が、15名の職員と共に元気に学校生活を送っています。

体育館、グラウンド、プール等は山形五小と時間割を調整して使用しています。また、山形五小と同じ山形市学校給食センターの給食を食べています。

通学区域は、原則として山形市中央部と山形市東部です。

村山特別支援学校本校、天童校、山形五小との交流及び共同学習を積極的に推進しています。

【学校生活・学習の様子】

山形五小の南校舎1階部分が山形校の校舎です。各学年の教室の他にも教室があります。

プレイルームでは、主に体を動かす学習を行います。ボールや大型三輪車などの遊具を使用して、元気いっぱい活動しています。音楽室では、音楽の学習に加えて、体育や合同での学習、儀式的行事なども行っています。低学年グラウンド脇にある学習園（畑）では、生活科の学習で植物の栽培に取り組んでいます。冬になると、築山でそり滑りを楽しんでいます。



学校は住宅街の中に位置し、スーパー、コンビニ、飲食店、公園、図書館など、生活に密接した施設がたくさんあります。また、中心市街地まで徒歩圏内で、市内循環のバス停も目の前にあり、実際の生活を想定した学習を実施することができます。この恵まれた立地を生かし、現在の生活はもちろん将来へとつながる、生きて働く力を育てていきたいと思っています。



山形県立村山特別支援学校 山形校

〒990-0034

山形県山形市東原町一丁目1番9号

TEL (023) 625-1006

FAX (023) 625-1008

e-mail: ybunyamagata@pref-yamagata.ed.jp

【山形市立第五小学校との交流】

隣接する山形五小とは、一年生を迎える会や運動会、おひさまフェスタなどの行事に参加したり、一緒に人形劇を鑑賞したりするなどの交流を行っています。また、それぞれの学校で開催されるスクールコンサートなどに招待し合っています。それぞれの学校にとって、学びのある交流になるように進めていきたいと考えています。



【本校・天童校との交流】

山形校と本校・天童校の三校の児童が集まって、学年ごとに交流学習を行っています。普段はあまり会うことのない同じ学年の友だちと一緒にゲームをしたり、大型遊具などを使って体を動かしたりと、さまざまな活動をしています。また、5年生では宿泊学習、6年生では修学旅行を三校合同で行い、一緒に出掛けて泊まっています。



【地域の人材・資源を活用した学習】

外部から講師を招いての学習も行っています。令和7年度は読み聞かせ（おはなしの会）を行いました。

また、山形大学食堂の利用、植木市の見学など、地域の資源を活用した学習も行っています。





山形県立村山特別支援学校 天童校

- ・山形県立村山特別支援学校天童校は、平成26年4月に村山特別支援学校（知的障がい）の分校として、天童市立津山小学校内に開校しました。
- ・天童校は、小学部のための特別支援学校で、現在28名の児童が元気に学校生活を送っています。
- ・体育館、グラウンド、プール等は津山小と時間割を調整して使用しています。
- ・村山特別支援学校（本校、山形校）、津山小、居住地校との交流及び共同学習を推進しています。
- ・通学区域は、原則天童市全域と山形市北部です。

津山小の校舎東側1階部分が天童校の教室です。グラウンド脇の畑では、サツマイモ、トマト、カボチャ、キュウリ、ポップコーン、プランターでベニバナなどを育てています。



体を動かして遊ぶことが大好きな天童校の子どもたち。晴れた日は、校庭の遊具で思いっきり遊びます。

夏は、津山小のプールやテラスのビニールプールでの水遊び、わくわくランドでの噴水遊びをします。冬は校庭の築山や天童高原スキー場でそり遊びをします。



学年合同で学習することもあります。9月には、上学年が花のプランターと手作り看板を交差点付近に設置し、交通安全を呼び掛ける活動を行います。10月は学習発表会「むらとくまつり」で、日頃の学習の成果を発表します。



山形県立村山特別支援学校 天童校
〒994-0022

山形県天童市大字貫津591番地

TEL: (023) 651-1612

FAX: (023) 651-1613

e-mail: ybuntendo@pref-yamagata.ed.jp

【天童校のまわりには学習に生かせる場所がたくさんあります】



グラウンドの桜、郵便ポスト、大きな遊具や噴水のある公園、足湯、散歩ができる道路、スーパーマーケット、本屋さん。どれも学校から歩いて行ける距離にあります。安全に気を付けながら利用し、児童の学習に生かしています。

【年間を通して本校や山形校の友達と交流をしています】

本校や山形校の友達と学年ごとの交流活動をしています。年間を通して、手紙や作品のやり取りを行い、交流を深めています。交流活動では、自己紹介やゲームをしたり、修学旅行や宿泊学習に向けて交流を深めたりします。



【津山小の友達と交流しています】



津山小仲間を迎える会では、天童校の1年生が、津山小の児童の前で自己紹介をしました。

昼休みの交流活動「フレンズデー」（年5回予定）では、津山小の縦割り班に学級ごと交ざり、「はないちもんめ」や「大根ぬき」などの集団ゲームと一緒に遊びます。



【地域の方を先生にお招きして学習しています】

地域で読み聞かせの活動をしている「おはなしの会くれよん」の皆さんをお招きして、おはなしの会を行いました。大型絵本やパネルシアター、など、趣向を凝らした読み聞かせを興味津々で見ながら楽しみました。

